



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 アキレス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5142 URL <http://www.achilles.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長兼経営企画本部長 (氏名) 藤澤 稔

TEL 03-5540-9848

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	63,122	4.9	1,274	△24.0	1,731	△18.7	992	6.8
25年3月期第3四半期	60,171	△0.5	1,675	46.3	2,130	55.6	929	246.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,844百万円 (57.6%) 25年3月期第3四半期 1,170百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	5.34	—
25年3月期第3四半期	4.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	75,429	42,066	55.8	227.26
25年3月期	71,854	40,972	57.0	219.55

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 42,066百万円 25年3月期 40,972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	6.6	1,600	△13.7	2,200	△17.1	1,300	△8.7	7.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	190,627,147 株	25年3月期	190,627,147 株
26年3月期3Q	5,526,276 株	25年3月期	4,003,773 株
26年3月期3Q	185,964,264 株	25年3月期3Q	188,712,794 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、国内は個人消費をはじめ建設業やサービス業を主体として堅調に推移し、海外も先進国を中心に持ち直しの情勢が見られました。しかしながら円安の進行と原油価格の高止まりは、原材料、エネルギー及び輸入製品価格の上昇に大きく影響を与える状況で推移しました。

このような事業環境の下、当社グループは企業価値の増大を目指して、ブランド商品の育成と拡販、独自技術を活かした新商品開発、新規顧客の開拓、グローバル展開の推進に加え、徹底したコストダウンに取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 63,122 百万円(前年同四半期比 4.9%増)、営業利益 1,274 百万円(前年同四半期比 24.0%減)、経常利益 1,731 百万円(前年同四半期比 18.7%減)、四半期純利益 992 百万円(前年同四半期比 6.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<シューズ事業>

ジュニアスポーツシューズのトップブランド「瞬足」は、主力のランニングカテゴリーに、野生動物をモチーフとした「エスチーター」を投入し好評を得たこと等により、前年に大きな注目を集めた「瞬足ダンス」の市場一巡化の影響をカバーし、ほぼ前年並みの売上となりました。高機能スーパークッション「ソルボ」を搭載した「アキレス・ソルボ」は、婦人向け新商品が好調に推移したことに加え、昨年より発売した「■●▲Designs (フォートゥースリーデザインズ) By ACHILLES SORBO」が好評を得て、前年売上を上回りました。

シューズ事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高 13,854 百万円(前年同四半期比 2.6%増)、セグメント利益(営業利益)は 548 百万円(前年同四半期比 45.3%減)となりました。

<プラスチック事業>

車体内装用資材は、昨年後半からの国内需要回復に加え、中国市場での受注も堅調に推移し、また円安の影響もあり、前年売上を上回りました。

フィルムは、一般用は堅調に推移しましたが、海外向け工業用の在庫調整の影響等により、前年売上を下回りました。農業用は好調に推移し、国内事業全体では前年売上を上回りました。北米事業では、文具用の不振がありましたが、医療用が好調に推移したことに加え円安の影響もあり、前年売上を上回りました。

建装資材の床材・壁材は、堅調な新設住宅着工及びリフォーム需要を背景に前年売上を上回りました。

引布商品は、前年実績の、防災対策品であるテント関係の特需がなかったことから、前年売上を下回りました。

プラスチック事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高 28,409 百万円(前年同四半期比 6.1%増)、セグメント利益(営業利益)は 993 百万円(前年同四半期比 5.0%増)となりました。

<産業資材事業>

ウレタンは、家具用・寝具用・日用雑貨用など主力製品が好調に推移したことに加え、車輛用も好調を維持し、前年売上を上回りました。

断熱資材は、ボード製品が戸建分野向けの製品を中心に拡販が図れ、パネル製品については畜産施設向けが好調に推移、スチレン製品も鑄造用途などを中心に拡販が図れ、前年売上を上回りました。

静電気対策品は、スマートフォン向けの需要増と海外関係での伸長により前年売上を上回りました。

産業資材事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高 20,858 百万円(前年同四半期比 4.9%増)、セグメント利益(営業利益)は 1,325 百万円(前年同四半期比 9.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は 75,429 百万円で前連結会計年度末に比較して 3,574 百万円増加しました。

資産の部では、流動資産は 48,691 百万円となり前連結会計年度末に比較して 3,105 百万円増加しました。これは主に、たな卸資産が 2,934 百万円、受取手形及び売掛金が 870 百万円増加しましたが、現金及び預金が 514 百万円減少したことによります。固定資産は 26,737 百万円となり前連結会計年度末に比較して 469 百万円増加しました。これは主に、投資その他の資産が 654 百万円、無形固定資産が 197 百万円増加しましたが、有形固定資産が 382 百万円減少したことによります。

負債の部では、流動負債は 24,502 百万円となり前連結会計年度末に比較して 2,601 百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が 2,666 百万円増加したことによります。固定負債は 8,860 百万円となり前連結会計年度末に比較して 120 百万円減少しました。これは主に、退職給付引当金が 138 百万円減少したことによります。

純資産の部は 42,066 百万円となり、前連結会計年度末に比較して 1,093 百万円増加しました。これは主に、自己株式が 190 百万円、為替換算調整勘定が 715 百万円、利益剰余金が 433 百万円増加したことによります。以上の結果、自己資本比率は 55.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 5 月 10 日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成 26 年 2 月 10 日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,999	7,485
受取手形及び売掛金	25,351	26,221
商品及び製品	7,158	9,536
仕掛品	1,262	1,540
原材料及び貯蔵品	1,960	2,238
繰延税金資産	592	477
その他	1,352	1,268
貸倒引当金	△89	△76
流動資産合計	45,586	48,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,389	7,150
機械装置及び運搬具(純額)	4,768	4,488
土地	5,285	5,291
建設仮勘定	20	168
その他(純額)	379	363
有形固定資産合計	17,844	17,461
無形固定資産	523	720
投資その他の資産		
投資有価証券	4,016	4,296
繰延税金資産	2,708	2,407
その他	1,254	1,924
貸倒引当金	△78	△72
投資その他の資産合計	7,900	8,555
固定資産合計	26,268	26,737
資産合計	71,854	75,429

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,035	15,702
短期借入金	2,256	2,337
未払金	2,954	3,137
未払法人税等	276	121
資産除去債務	10	17
その他	3,365	3,184
流動負債合計	21,900	24,502
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
長期未払金	23	20
繰延税金負債	472	479
退職給付引当金	5,238	5,100
資産除去債務	229	243
P C B廃棄物処理引当金	17	17
固定負債合計	8,981	8,860
負債合計	30,881	33,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	10,708	10,708
利益剰余金	15,543	15,976
自己株式	△532	△723
株主資本合計	40,359	40,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,237	1,392
繰延ヘッジ損益	290	270
為替換算調整勘定	△914	△198
その他の包括利益累計額合計	612	1,464
純資産合計	40,972	42,066
負債純資産合計	71,854	75,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	60,171	63,122
売上原価	47,581	50,720
売上総利益	12,589	12,402
販売費及び一般管理費	10,914	11,128
営業利益	1,675	1,274
営業外収益		
受取利息及び配当金	73	94
その他	501	441
営業外収益合計	574	535
営業外費用		
支払利息	46	49
その他	73	29
営業外費用合計	119	78
経常利益	2,130	1,731
特別利益		
固定資産売却益	2	34
国庫補助金	3	—
保険差益	40	0
投資有価証券売却益	—	5
特別利益合計	47	40
特別損失		
減損損失	201	—
固定資産除却損	61	36
投資有価証券評価損	11	—
特別損失合計	275	36
税金等調整前四半期純利益	1,902	1,734
法人税、住民税及び事業税	291	346
法人税等調整額	681	395
法人税等合計	973	742
少数株主損益調整前四半期純利益	929	992
四半期純利益	929	992

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	929	992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	161	155
繰延ヘッジ損益	69	△20
為替換算調整勘定	8	591
持分法適用会社に対する持分相当額	0	124
その他の包括利益合計	240	851
四半期包括利益	1,170	1,844
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,170	1,844
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	13,509	26,785	19,876	60,171	—	60,171
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	134	402	536	△536	—
計	13,509	26,919	20,278	60,707	△536	60,171
セグメント利益	1,003	946	1,464	3,414	△1,739	1,675

(注)1. セグメント利益の調整額△1,739百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「産業資材事業」セグメントにおいて、中国子会社の固定資産について、市場環境の著しい悪化により受注が減少し早期の回復が見込まれないため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては201百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	13,854	28,409	20,858	63,122	—	63,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	127	368	496	△496	—
計	13,854	28,537	21,227	63,619	△496	63,122
セグメント利益	548	993	1,325	2,867	△1,593	1,274

(注)1. セグメント利益の調整額△1,593百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。